

令和2年度 氷見市教育総合センターだより 第4報

第1回 若手教員研修会

7月22日(水)開催

演題 学級づくりは授業づくりから

講師 富山国際大学子ども育成学部

教授 瀬戸 健 先生

研修会は、「学級経営が先か、授業づくりが先か」という問いについて参加者同士で意見交換することからスタートしました。その後、瀬戸先生からは、実際の様々な指導場面を示しながら、授業づくりに向かう教師の姿勢や取組等、以下のような点について教えていただきました。

- ・子供が話そうとするとときにそばにいて、子供の心が表れる瞬間を捉えてほしい。
- ・先生が子供にかける一声は、子供にとって大きな力になる。自分が声をかけたことをカードにメモしてためていくという方法もよい。
- ・子供たちが今どんな気持ちで、どんなことをしているかということ、少し立ち止まって考えてみてほしい。子供にかける声や次の手立てにつながる。
- ・「つながる」ことも大切だが、「つながらないようにする」ことも手立てとして使ってみるとよい。
- ・子供に指示したことは、自分でも一度やってみると、子供たちの努力の姿が見えることがある。

日々取り組んでいる授業づくりについて改めて見つめ直し、よりよい実践を目指すための多くのヒントをいただいた研修会となりました。



<参加者の声>

- ・学級経営について、授業づくりよりも重視してきたところがあったが、授業の中で子供をひきつける、楽しいと思える瞬間があることが、子供が教室で前向きに学習することにつながるのだと感じ、授業づくりの重要性を強く感じた。
- ・「今の自分は、クラスの子供たちにとってどんな存在になっているだろうか」コロナ禍の中、直接深く関わることは難しいが、言葉を通して心で深くつながっていきたいと思った。
- ・日々の業務に追われ、自分がした授業を振り返ることがほとんどできていないので、授業力をつけるために、授業を振り返る時間とっていききたいと思った。
- ・日々子供たち一人一人に声をかけるようにしているが、忙しく雑になったり話しかけてくる子ばかりと話したりしているなど反省した。一人一人の子供に合った声かけを考えていききたいと思った。
- ・たくさんの子供たちとよい関係が築けるように、日々の授業や普段のやりとりを大切にしていきたいと思った。
- ・教師自身が学ぼうとする姿勢が、子供の学ぶ姿勢につながると思うので、これからも努力し続けたい。

お知らせ

令和2年度 教育論文・教育実践記録募集について

今年度も教育論文・教育実践記録を募集します。新型コロナウイルスの影響を受け、通常のエデュケーション活動が十分にできない状況にあると思いますが、様々な制限がある中で行った実践の記録は、今後の教育の参考になってくるはずです。教員間で協働して実践できたことや、工夫を凝らして取り組んだこと等、是非紹介していただきたいと思います。奮って応募してください。

(募集要項)

1 規格

- ・A4判サイズ、本文12ページ以内
- ・字数は40字×40行とし、写真、図、表などを本文に挿入する場合も枠内におさめる。
- ・提出は2部（綴じたもの、綴じてないもの各1部）、概要（A4判1枚）2部

2 応募締切 令和3年1月12日(火)17:00まで

3 提出先 教育総合センター

※ 詳細は、第4回市内校長会議(12月実施予定)の資料をご覧ください。



全国学力・学習状況調査の問題から

～示されたメッセージを読み取り、授業改善に生かす～

コロナ禍の影響により、今年度は全国学テの実施が見送られました。しかし、それぞれの学校で独自に実施され、自校の児童生徒の学力や実態の把握に生かしていってほしいと思います。

全国学力・学習状況調査の調査問題については、「新しい学習指導要領が求める育成を目指す資質・能力を踏まえ、それを教育委員会や学校に対して、具体的なメッセージとして示すもの」（「全国的な学力調査の今後の改善方策について（まとめ）」（平成29年3月））であることは周知の通りです。

それでは、調査問題からわたしたちはどのようなメッセージを読み取ればよいのでしょうか？「記述式」の問題を取り上げて考えてみます。

○国語科では、今年度、小・中ともに、2問が出題されています。

校種	問題番号	問題の概要	出題の意図
小学校	1-3	インスタント食品のよさについての【発表の様子】の□に、取材を通して分かったことを取り上げて書く	目的や意図に応じ、取材内容を基にして 自分の考えをまとめる
	2-2	プラスチックの3R週間を提案する【下書き①】の□に、【本の一部】からプラスチックがずっと残ってしまう理由を書く	事実と意見とを 区別して書く
中学校	1-3	卒業生から学ぶ会の最後に述べるお礼の言葉を書く	自分の考えが相手に分かりやすく伝わるように 工夫して話す
	3	創作している俳句に入れる言葉を選択し、その言葉を選んだ理由を書く	自分の考えを読み手に効果的に伝わるように、 説明や具体例を加えて書く

例えば、小学校2-2では、「事実と意見を区別して書く」ために、「○○という本によると、～そうです」という表現が求められています。国語科に限らず、自分の課題について調べ、意見を記述した文章や活動を報告した文章を書く学習活動を行う際には、構成を工夫すること、事実と意見を書き分けること、目的や意図に応じて表を用いて書くことなどを意識した指導が大切だと言えます。

○算数科では、小・中ともに4問が出題されています。

校種	問題番号	問題の概要	出題の趣旨
小学校	1-(5)	縦80m、横50mの長方形を縦に何個、横に何個並べると、縦240m、横300mの長方形になるかについて、求め方と答えを書く	二つの長方形の辺の長さを比較し、長方形を縦に並べる個数と横に並べる個数の 求め方と答え を記述できる（「方法」を記述）
	2-(2)	示された四角柱について、かけ算の式がどのようなことを表しているのかを書く	底面が正方形の四角柱の構成要素や性質を基に、示された乗法の 式の意味 を記述できる（「事実」を記述）
	3-(4)	0.75+0.9について、ある数のいくつ分かを考え、整数のたし算に表して説明するときの求め方を書く	示された考えを基に、数の相対的な大きさを用いて小数の加法を整数の加法に 処理する方法 を記述できる（「方法」を記述）
	4-(2)	ヘチマのくきの長さを表している棒グラフをもとに、のびたくきの長さを表している棒グラフを選び、選んだわけを書く	示された棒グラフを基に、他の観点で表している棒グラフを棒の長さに着目して判断し、 判断の理由 を記述できる（「理由」を記述）
中学校	6-(2)	集まった紙パックの合計の重さを45000gとしたとき、紙パックの枚数の違いがおよそ何枚になるかをグラフから求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、 問題解決の方法 を数学的に説明することができる（方法・手順の説明）
	7-(3)	△ABCにおいて、∠Bの大きさが90°で、点Eが辺BCの中点ならば、四角形ABEFがどのような形になるかを説明する	付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、 説明 することができる（事柄・事実の説明）
	8-(3)	「60分未満の来院者数は、8時台の方が11時台より多い」と主張することができる理由を相対度数を用いて説明する	データの特徴を的確に捉え、 判断の理由 を数学的な表現を用いて説明することができる（理由の説明）
	9-(2)	里奈さんの求め方の手順3において、わる数の3がどんな数であるかを説明する	連立方程式を解く過程を振り返り、 事象に即して解釈し、事柄の特徴 を数学的に説明することができる（事柄・事実の説明）

例えば、中学校7-(3)は、図形を考察対象として、成り立つと予想される事柄や事実を見いだす問題です。「○○ならば、◇◇になる」のような形で、前提（○○）とそれによって説明される結論（◇◇）を数学的に表現することが求められています。指導においては、証明に用いた前提や根拠、結論を整理することや新たに付加された条件の下で発展的に考察し、新たに見いだした事柄を説明することが大切だと言えます。

各問題については、各学校に配付された「解説資料」に詳しく記載されています。有効に活用し、教員による指導改善や、児童生徒の学習改善・学習意欲の向上などに役立てていただくようお願いします。

令和2年度小6児童、中3生徒の実態は？ ～児童生徒質問紙調査の集計結果より～

今年度の質問紙の設問数は、小学校・中学校共に71問でした。平成31年度は小学校58問、中学校69問でしたので、小学校で設問数が大幅に増えたことになります。

新しい設問として、小・中共に、「家の人と進路などの将来のことについて話すことがあるか」、「携帯、スマホ、ゲームやネットの利用」・「授業や話し合い活動への取り組み方」・「国語や算数の学習への取り組み方」等に関する質問がありました。



質問の内容を詳しく見てみると、例えば、(39)「友達と話し合うとき、友達の考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて、自分の考えを持つことができる」、(52)「国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えを持ったり、自分の考えを広げたりしている[中学校:内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりしている]」、(63)「算数[数学]の授業で問題を解くときに、ブロックや絵、図、数、式などを使って問題場面を表して[中学校:表、式、グラフなどを使って関係や特徴を捉えて]解こうとしている」等の設問からは、新学習指導要領を踏まえた学力観や児童生徒に身に付けさせたい学び方について、一層具体的な姿が示されているように感じます。

さて、教育総合センターでは、市内各学校の協力を得て児童・生徒質問紙の回答を集約し、本市児童生徒の学習・生活の実態についてまとめました。特徴的な結果を示した質問事項について一部を紹介します。

自校の結果と比較し、強みと弱みを明らかにして、強みはさらに伸ばし、弱みには対応策を工夫して教育活動を進めていただきたいと思います。

【新設問題】

*数字は「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合

質問番号・質問内容	小学校	中学校
(7)テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか	68.5	41.7
(9)普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか …上段:3時間以上、下段:2時間以上	21.3 42.6	20.0 39.7
(32)5年生までに「1、2年生のときに」受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思う	74.2	68.6
(40)5年生までに「1、2年生のときに」受けた授業で、調べたことや考えたことを800字[1,200字]程度でまとめたことがある	57.4	39.2
(50)国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしている	64.4	55.0
(53)、(65)先生は、国語、算数[数学]の授業で、自分のできているところや改善できそうなどころがどこか教えてくれる …上段:国語、下段:算数[数学]	74.8 77.5	59.7 70.5
(59)算数[数学]の授業で学習したことを、普段の生活のなかで活用できないか考える	75.7	57.2

【経年比較問題】

質問番号・質問内容	市 上段:小 下段:中	平成31年度との比較		
		市比較	県比較	国比較
(11)自分には、よいところがあると思う	78.4 73.8	-6.2 -5.9	-3.6 -3.6	-2.8 -0.3
(21)学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか …小:1時間以上、中:2時間以上	55.1 30.9	-0.8 +7.0	-11.1 +6.0	-11.0 -4.6
(25)新聞を読んでいますか …週に1回以上読んでいる	17.1 12.0	-4.9 -7.5	-5.8 -5.2	-1.9 -0.7
(37)学級の友達と「生徒」の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う	77.8 74.1	+2.6 -1.7	+3.7 +1.0	+3.7 +1.3
(41)総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う	82.0 86.1	+15.3 +10.3	+13.3 +16.6	+16.3 +24.6
(42)あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会「学級活動」で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思う	80.2 75.0	+7.9 -7.0	+2.6 -1.9	+6.2 +3.4

おすすめ図書の紹介

～教育セミナー講師著書～

本年度の「学力向上研修会（教育セミナー）」で講演を依頼していた菊池省三氏の著書を購入しました。コミュニケーションを大切にした学級づくりや授業改善という視点で参考になる内容です。また、氷見市中学校教員の派遣研修受け入れ校であった福井県明倫中学校の実践が、昨年度の教育セミナーの講師、田村 学氏の著書の中で紹介されています。学力向上を先進的に実践して

いる学校の事例を参考に、「深い学び」への取組にチャレンジしてみませんか。

菊池省三
365日の
コミュニケーション指導

菊池 省三 菊池 道場 著
明治図書



コミュニケーション力は、相手を理解し、相手を好きになり、一緒に成長していくために必要な力であり、子供たちの人間形成に大きな影響を及ぼす。

この考えに基づいて菊池道場のメンバーが実践した指導事例が紹介されており、6つのメソッドから指導を捉え、「対話と絆をつくる最高の教室」を実現しています。

菊池省三の
学級づくり方程式

菊池 省三 著
小学館

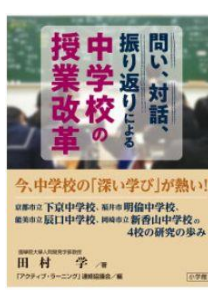


菊池学級において、子供たちの変化はなぜ生まれるのか？荒れた学級がどうして成長の教室へと変わるのか？

この本では、「成長し続ける学級をつくる方程式」「成長をし続ける人間を育てる方程式」「貧困の現場から考える3つの解法」の3章から、式と数字を用いて、魅力的に解き明かしています。

問い、対話、振り返り
による中学校の授業改革

田村 学 著
小学館



全国の中学校の授業改善が熱い。その中で都道府県の垣根を超えて実践研究を進めてきた4校がある。

この本では、「教科の学び、期待する学びに自ら向かう導入（課題・問い）」「対話を通して知識を構造化する場面の整備」「自覚化・共有化（振り返り）の意図的構成」の充実によって「深い学び」を実現している各教科の具体例を紹介しています。

ALTからのメッセージ

ALTのジミー先生が9月11日を以って氷見市での勤務を終えられました。今後は、日本で様々な体験を積みながら次へのステップを考えていくとのこと。第2の故郷になった氷見市の先生方への感謝のメッセージです。



I am scheduled to leave Himi soon, so I would like to express my gratitude to all who have helped me these past two years. When I first came to Himi in July of 2018, I was worried about the new journey I was beginning and what life would be like here. I was excited, but I was nervous as well. However, thanks to all of you, I have been able to learn a lot and make countless memories in Himi that I will not soon forget.

Throughout these two years, the teachers and friends I have met have become my second family, and Himi has become my second home. I look forward to the day when I am able to come back to Himi to see all of you again. Until then, please take care. Sincerely and from the bottom of my heart, thank you.